

新型コロナウイルス感染防止のためのご理解・ご協力をお願い（企画事業編）

令和4年8月1日

国立能登青少年交流の家

当施設の企画事業に参加される青少年の皆さまは、必ず保護者の方と、この資料を読んでください。

当施設では「手洗いの徹底」「マスクの着用」「3密を避けること」や室内の換気、対人距離の確保等をはじめとした基本的な感染症対策を行ったうえで、企画事業を実施いたしますが、今後も新型コロナウイルス感染には引き続きの注意を要しますので、当面の間は以下の対応を行います。

企画事業にご参加いただくにあたり、ご理解・ご協力をお願いいたします。

1. 当施設の取り組み

(1) 利用人数および活動プログラム

- ・ 宿泊定員は概ね半数（宿泊室：約200名、キャンプ場：約50名）に制限する。
- ・ 「3密」を避けるよう、各活動プログラムの内容変更や実施人数を制限する。

(2) 県外からの利用団体

- ・ 利用当日において利用者の居住する都道府県または石川県・羽咋市の方針により県をまたぐ移動の自粛が求められる場合は、利用を制限する。

(3) 咳エチケット、正しいマスクの着用、手洗い・手指の消毒の徹底

(4) 定期的な健康チェックの実施

(5) 研修室等の使用

- ・ 対人距離を確保するため、机・椅子の間引きや利用定員を概ね半数以下として提供する。
- ・ 定期的にドアノブや電気のスイッチ等の消毒および清掃並びに換気を実施する。

(6) 食堂および浴室の使用

- ・ 利用が一定時間に集中し混雑しないように利用時間を割振る。

(7) 職員の安全確保

- ・ 検温および健康記録を実施する。

2. 参加者の皆様へのお願い

(1) 事業当日まで

- ・ 事業当日までの14日以前に発熱（37.5度以上）や咳、咽頭痛、息苦しさ（呼吸困難）等の風邪症状がある場合の企画事業への参加を自粛する。

(2) 事業参加中

【全般】

- ・入所時、19時頃、起床時（宿泊時）の健康チェック（検温等）を実施し、事務室又は職員へ状況報告する。
- ・体温計、マスク、ハンカチ、消毒液、マスク等を処分する袋を持参する。
- ・咳エチケット、正しいマスクの着用、手洗い・手指の消毒を徹底する。

【活動】

- ・参加者同士の間隔を開け、近距離での会話や発声並びに高唱は避ける。
- ・室内の活動時は30分に一度の定期的な換気を行う。
- ・使用した研修室、講堂、体育館のドアノブや電気のスイッチ等の消毒および、使用した活動の物品等の消毒を行う。

【食事】

- ・食堂では飲食時以外はマスクを着用し、黙食を行う。
- ・食堂のバイキングレーンには一定の距離（2m以上を目安）の間隔をあけて並び、ビニール手袋を着用して配膳する。
- ・食堂着席時は間隔を開け、対面にならないように着席する。

【入浴】

- ・脱衣場において可能な限りマスクを着用し、飛沫を飛ばさない様に会話を控え、素早く済ませる。

(3) 利用後

- ・発症及び濃厚接触者がいる場合は、その後の経過（診断結果等）を当施設に連絡する。
- ・利用終了後5日以内の間に、発症した場合やPCR検査を受検された場合は当施設に連絡する。

3. 有症者の報告について

■新型コロナウイルス感染症である場合を想定して、以下のとおり対応する。なお、有症者が出た場合、事業が中止となる場合がある。

- ・体調が優れない参加者（以下、「有症者」という。）は、保護者に連絡のうえ、早急に医療機関への搬送や帰宅（退所）に向けた準備を行う。
- ・有症者及び濃厚接触者は全員、別室に移動する。
- ・有症者及び濃厚接触者以外は一旦活動を休止し、全員の健康チェックを実施する。
- ・有症者及び濃厚接触者の発生について、他の参加者の保護者に電話連絡する。

3. その他

本内容は、令和4年8月1日現在の状況に基づくものであり、今後適宜更新します。